



# 令和7年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

令和7年4月10日

上場会社名 アクサホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3536 URL <https://www.axas-hd.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久岡 卓司  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 新藤 達也 TEL 078-391-4000  
半期報告書提出予定日 令和7年4月10日  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和7年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（令和6年9月1日～令和7年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年8月期中間期	6,035	0.8	49	881.2	△50	—	△100	—
6年8月期中間期	5,990	4.4	5	△97.3	△58	—	△62	—

(注) 包括利益 7年8月期中間期 △104百万円 (-%) 6年8月期中間期 △51百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
7年8月期中間期	△3.31	—
6年8月期中間期	△2.07	—

※ 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
7年8月期中間期	17,820	1,861	10.4	61.40
6年8月期	16,607	2,026	12.2	66.83

(参考) 自己資本 7年8月期中間期 1,861百万円 6年8月期 2,026百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年8月期	—	0.00	—	2.00	2.00
7年8月期	—	0.00	—	—	—
7年8月期（予想）	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和7年8月期の連結業績予想（令和6年9月1日～令和7年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,347	5.4	408	—	262	—	250	696.9	8.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

7年8月期中間期	30,325,252株	6年8月期	30,325,252株
7年8月期中間期	1株	6年8月期	1株
7年8月期中間期	30,325,251株	6年8月期中間期	30,325,252株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(令和6年9月1日から令和7年2月28日まで)のわが国の経済は、雇用・所得環境の改善等により、経済情勢は緩やかな回復がみられる一方で、不安定な海外情勢や長引く円安の影響等により、ガソリンや水光熱費・食料品といった生活必需品が高騰し、消費者の生活防衛意識が高まってきております。そのような経済環境のなか、当社グループは、お客様の日常から最も近いところから「本当にいいものや必要とされるものを見極める感性を磨き続け、良質な提案をスピーディーにお届けすること」を最重要使命とし、グループ全体でお客様、そして地域社会の生活文化の質的な向上を「美・健康・ゆとりの側面」から応援し、顧客満足、社員満足を高めていくことで会社満足も高め、これら3つの満足によってグループ価値の更なる向上に努め、株主様、取引先様をはじめとするすべての関係者の皆様への利益還元と社会貢献の実現を目指しております。

具体的な取り組みとして、令和6年12月、アパレルやシューズ・バッグ等、アウトドア商品を中心に取り揃えたアスリーツカジュアルアレックス六甲アイランド店(神戸市東灘区)をオープンいたしました。また、同年同月、9種類のウイスキーの原酒の量り売りや世界各地のウイスキーを500種類以上取り揃えた自由が丘WHISKY(東京都目黒区)をオープンし、令和7年1月には、インポートコスメ・フレグランス・一般化粧品・生活雑貨・食品等を取り揃えたアレックスコンフォート六甲アイランド(神戸市東灘区)をオープンいたしました。一方で、同年同月、アレックスコンフォートクレフィ三宮(神戸市中央区)を閉店いたしました。

その結果、当中間連結会計期間末におけるグループ店舗数は、38店舗となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間は、売上高は6,035百万円(前年同中間期比0.8%増)となり、営業利益は49百万円(同881.2%増)、経常損失は50百万円(前年同中間期は経常損失58百万円)となりました。特別損失及び法人税等を計上し、親会社株主に帰属する中間純損失は100百万円(前年同中間期は親会社株主に帰属する中間純損失62百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① 小売事業

小売事業につきましては、ヘルス&ビューティーケアユニットでは、無添加・オイルフリーに拘ったスキンケア商品等の販売が好調に推移した一方で、インポートコスメやマスカラ等の販売が苦戦いたしました。

ライフスタイルユニットでは、パリの優れた機能性バッグブランド等のバッグカテゴリーが好調に推移した一方で、売場を縮小した食品部門の菓子カテゴリーの販売が苦戦いたしました。

アスレユニットでは、スポーツバイクや人気アウトドアブランドのメンズトップス等の販売が好調に推移した一方で、レディーストップスやスニーカー等の販売が苦戦いたしました。

ホームキーパーユニットでは、超高密度刺繍ブランドの刺繍キーホルダー等の販売が好調に推移した一方で、高単価文具類等の販売が苦戦いたしました。

アルコユニットでは、国産ウイスキーを中心に高付加価値商品等の販売が好調に推移した一方で、清涼飲料水やビール系飲料等の販売が苦戦いたしました。

ECユニットでは、高単価のウイスキーや高品質アロマキャンドル等の販売が好調に推移した一方で、国内化粧品等の販売が苦戦いたしました。

これらの結果、売上高は3,903百万円(前年同中間期比5.9%減)、セグメント利益は64百万円(同49.7%増)となりました。

#### ② 卸売事業

卸売事業につきましては、ナイトマーケットの縮小に加え、様々なモノの値上げ等により消費者の生活防衛意識が高まった影響で、高級ウイスキーや高額ワイン等の販売が苦戦した一方で、増加傾向にあるインバウンド消費をターゲットにした販路の拡大に加え、新規取引先の開拓に注力したことにより売上の拡大が図れました。

六甲山蒸溜所においては、商品ラインナップの拡充とハイボール缶等による販売の上乗せもあり、売上は大きく拡大いたしました。

これらの結果、売上高は2,286百万円(前年同中間期比17.4%増)、セグメント利益は50百万円(同5.2%増)となりました。

#### ③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、所有物件の価値を維持、向上させることにより、物件の高稼働を維持しており、既存テナントから安定した売上を確保しております。また、令和6年12月、良好な不動産マーケットにあり、安定的な収益が見込め、且つ転売市場でのニーズが高いエリアにあるレジデンス物件(大阪府豊中市)を一棟購入

いたしました。

これらの結果、売上高は340百万円（前年同中間期比4.9%増）、セグメント利益は114百万円（同17.6%減）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は17,820百万円（前期末比7.3%増）となり、前連結会計年度末に比べ1,212百万円増加いたしました。これは主に、棚卸資産519百万円及び販売用不動産227百万円、有形固定資産732百万円等の増加に対し、現金及び預金484百万円等の減少によるものであります。

負債合計は15,958百万円（同9.4%増）となり、前連結会計年度末に比べ1,377百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金1,300百万円等の増加に対し、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金22百万円等の減少によるものであります。

純資産合計は1,861百万円（同8.1%減）となり、前連結会計年度末に比べ164百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純損失100百万円及び配当金の支払60百万円等による利益剰余金の減少によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は10.4%（前期末比1.8ポイント減）となりました。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は856百万円（前年同中間期末比22.3%減）となり、前年同中間期末に比べ245百万円減少いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの概況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動の結果使用した資金は770百万円（前年同中間期は411百万円の獲得）となりました。主な要因は税金等調整前中間純損失87百万円に対し、仕入債務の増加額164百万円、減価償却費178百万円等により増加し、売上債権の増加額87百万円、棚卸資産の増加額746百万円等により減少いたしました。

② 「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動の結果使用した資金は915百万円（前年同中間期は1,170百万円の使用）となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出869百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出46百万円等により減少いたしました。

③ 「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動の結果獲得した資金は1,200百万円（前年同中間期は1,062百万円の獲得）となりました。主な要因は長期借入れによる収入176百万円、短期借入金の純増加額1,300百万円等により増加し、長期借入金の返済による支出207百万円、配当金の支払による支出59百万円等により減少いたしました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和6年10月15日付「令和6年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年8月31日)	当中間連結会計期間 (令和7年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,341,582	856,731
売掛金	459,506	585,511
棚卸資産	4,240,250	4,759,402
販売用不動産	—	227,605
預け金	8,332	8,136
未収還付法人税等	464	—
その他	188,865	269,519
流動資産合計	6,239,002	6,706,907
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,069,754	2,245,764
機械装置及び運搬具(純額)	239,272	224,056
什器備品(純額)	268,916	243,635
リース資産	23,316	33,564
土地	5,708,260	6,295,119
有形固定資産合計	8,309,518	9,042,140
無形固定資産		
のれん	505,455	538,016
借地権	58,348	58,348
ソフトウェア	103,260	90,358
電話加入権	7,821	7,821
無形固定資産合計	674,886	694,546
投資その他の資産		
投資有価証券	180,874	175,295
繰延税金資産	323,312	323,919
敷金及び保証金	532,037	528,197
破産更生債権等	4,686	4,686
その他	337,053	341,145
貸倒引当金	△4,686	△4,686
投資その他の資産合計	1,373,278	1,368,557
固定資産合計	10,357,684	11,105,244
繰延資産		
社債発行費	10,539	7,974
繰延資産合計	10,539	7,974
資産合計	16,607,225	17,820,126

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年8月31日)	当中間連結会計期間 (令和7年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	437,051	630,347
短期借入金	8,260,000	9,560,000
1年内返済予定の長期借入金	372,480	368,093
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
リース債務	6,933	9,443
未払法人税等	33,723	12,362
賞与引当金	21,086	19,264
未払金	178,322	169,575
その他	167,598	73,183
流動負債合計	9,777,196	11,142,269
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	3,640,605	3,622,161
リース債務	19,238	28,089
役員退職慰労引当金	100,694	100,816
資産除去債務	196,643	198,409
受入保証金	319,246	345,030
繰延税金負債	2,719	2,719
その他	24,259	18,740
固定負債合計	4,803,406	4,815,966
負債合計	14,580,602	15,958,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,686,487	1,686,487
利益剰余金	237,405	76,349
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,973,892	1,812,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,730	49,053
その他の包括利益累計額合計	52,730	49,053
純資産合計	2,026,623	1,861,890
負債純資産合計	16,607,225	17,820,126

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 令和5年9月1日 至 令和6年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 令和6年9月1日 至 令和7年2月28日)
売上高	5,990,004	6,035,209
売上原価	4,447,062	4,524,484
売上総利益	1,542,942	1,510,724
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	459,607	403,635
その他	1,078,259	1,057,290
販売費及び一般管理費合計	1,537,866	1,460,926
営業利益	5,075	49,798
営業外収益		
受取利息	111	3,167
受取配当金	1,413	1,868
その他	4,707	2,691
営業外収益合計	6,232	7,727
営業外費用		
支払利息	53,982	74,104
為替差損	8,008	13,720
その他	7,982	20,133
営業外費用合計	69,974	107,958
経常損失(△)	△58,666	△50,432
特別利益		
固定資産売却益	—	6,000
資産除去債務戻入益	—	5,361
投資有価証券売却益	2,668	—
特別利益合計	2,668	11,361
特別損失		
固定資産除却損	2,955	1,054
閉店損失	12,852	42,822
その他	437	4,090
特別損失合計	16,245	47,967
税金等調整前中間純損失(△)	△72,243	△87,037
法人税、住民税及び事業税	12,206	12,072
法人税等調整額	△21,717	1,295
法人税等合計	△9,511	13,367
中間純損失(△)	△62,731	△100,405
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△62,731	△100,405



(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 令和5年9月1日 至 令和6年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 令和6年9月1日 至 令和7年2月28日)
中間純損失(△)	△62,731	△100,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,622	△3,677
その他の包括利益合計	11,622	△3,677
中間包括利益	△51,109	△104,082
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△51,109	△104,082

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 令和5年9月1日 至 令和6年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 令和6年9月1日 至 令和7年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純損失(△)	△72,243	△87,037
減価償却費	187,325	178,874
繰延資産償却額	2,471	2,564
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,285	△1,822
受取利息及び受取配当金	△1,525	△5,035
支払利息	53,982	74,104
固定資産売却損益(△は益)	433	△6,000
固定資産除却損	2,955	1,054
閉店損失	12,852	42,822
売上債権の増減額(△は増加)	△45,325	△87,928
棚卸資産の増減額(△は増加)	327,744	△746,275
仕入債務の増減額(△は減少)	197,196	164,409
未払消費税等の増減額(△は減少)	△127,749	△95,912
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△81,861
その他の流動資産の増減額(△は増加)	37,030	21,076
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△115,142	△15,810
その他	△1,391	△8,907
小計	459,899	△651,684
利息及び配当金の受取額	1,416	2,077
利息の支払額	△55,187	△79,510
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	5,639	△41,366
営業活動によるキャッシュ・フロー	411,768	△770,484
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△264,722	△869,369
有形固定資産の売却による収入	80	6,000
無形固定資産の取得による支出	△70,852	△325
有形固定資産の除却による支出	—	△18,743
資産除去債務の履行による支出	△6,910	△1,931
保険積立金の解約による収入	99,110	—
投資有価証券の取得による支出	△32	—
投資有価証券の売却による収入	12,960	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△956,000	△46,997
預り保証金の返還による支出	△3,269	△9,170
預り保証金の受入による収入	5,349	23,526
敷金及び保証金の差入による支出	—	△16,796
敷金及び保証金の回収による収入	14,069	20,741
その他	—	△2,233
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,170,215	△915,299
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	189,917	1,300,000
リース債務の返済による支出	△2,637	△4,584
長期借入れによる収入	1,000,000	176,000
長期借入金の返済による支出	△184,542	△207,721
社債の発行による収入	200,000	—
配当金の支払額	△121,147	△59,261
その他	△18,800	△3,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,062,788	1,200,913
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	19
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	304,359	△484,850
現金及び現金同等物の期首残高	797,917	1,341,582
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,102,276	856,731

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 令和5年9月1日 至 令和6年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト			
	小 売 事 業	卸 売 事 業	不動産賃貸事業	計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	3,916,174	1,751,111	—	5,667,286
その他の収益	—	—	321,963	321,963
外部顧客への売上高	3,916,174	1,751,111	321,963	5,989,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	233,707	195,949	2,298	431,955
計	4,149,881	1,947,061	324,261	6,421,204
セグメント利益	43,062	47,571	139,061	229,695

(単位:千円)

	その他(注)1	合 計	調整額(注)2	中 間 連 結 損 益 計 算 書 計 上 額 (注)3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	754	5,668,041	—	5,668,041
その他の収益	—	321,963	—	321,963
外部顧客への売上高	754	5,990,004	—	5,990,004
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	431,955	△431,955	—
計	754	6,421,959	△431,955	5,990,004
セグメント利益	607	230,302	△225,227	5,075

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△225,227千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 令和6年9月1日 至 令和7年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト			
	小 売 事 業	卸 売 事 業	不動産賃貸事業	計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	3,632,618	2,063,907	—	5,696,526
その他の収益	—	—	337,819	337,819
外部顧客への売上高	3,632,618	2,063,907	337,819	6,034,346
セグメント間の内部売上高又は振替高	271,063	222,724	2,442	496,230
計	3,903,682	2,286,632	340,262	6,530,576
セグメント利益	64,471	50,031	114,625	229,128

(単位:千円)

	その他(注)1	合 計	調整額(注)2	中 間 連 結 損 益 計 算 書 計上額(注)3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	863	5,697,390	—	5,697,390
その他の収益	—	337,819	—	337,819
外部顧客への売上高	863	6,035,209	—	6,035,209
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	496,230	△496,230	—
計	863	6,531,440	△496,230	6,035,209
セグメント利益	157	229,286	△179,487	49,798

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△179,487千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。